

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	今後の健康診断の在り方に関する調査研究		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成25年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	学校保健安全法 第13条、第17条 学校保健安全法施行規則 第6条、第7条		関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	新型インフルエンザや麻しん・風しん等の各種感染症や、ぜん息、アトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患など多様化・深刻化の傾向にある児童生徒等の現代的健康課題を踏まえ、児童生徒等に対する健康診断について、近年の学校における実施体制の実態を検証するとともに、今後の在り方等について検討する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	健康診断の在り方に関する調査研究結果を踏まえ、協力者会議を開催し、調査分析を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		19.2	1.6	4.0	0	
		繰越し等		-	△0.1			
		計		19.2	1.5	4.0	0	
	執行額			8.4	1.2			
	執行率 (%)			43.8%	80.0%			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	今後の健康診断の在り方について調査分析することを目的とする事業であり、定量的な成果目標等を定めることは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は、調査分析を行うものであり、活動指標等を数値で定量化することは困難。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
					(—)	(—)	(—)	
単位当たり コスト	—		算出根拠	—				
平成 25 ・ 26 年 度 予 算 内 訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.9百万円		平成25年度限りで廃止				
	職員旅費	0.3百万円						
	委員等旅費	1.0百万円						
	教職員研修費	1.8百万円						
	計	4.0百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	学校保健安全法第17条において、学校における健康診断に関する事項については、政令及び省令で定めるものとなっており、国が今後の健康診断の在り方について検討する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	協力者会議の開催に当たっては、経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	平成23年度に実施した健康診断についての実態調査の結果をもとに、有識者による協力者会議において分析を行い、報告書をまとめることで、平成25年度における更なる検討に活用している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 有識者による協力者会議を開催し、報告書をまとめることで、平成25年度における更なる検討に活用するなど、一定の成果があがっている。 協力者会議を開催するに当たり、スケジュール管理を徹底し、有識者に対する謝金・旅費の支給に当たっても、文部科学省の支給基準に照らし、予算を適正に執行している。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止することとしている。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
○今後の健康診断の在り方に関する検討会 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/013/index.htm (文部科学省HP)						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新23-0067	平成24年	0336

文部科学省
1.2百万円

諸謝金 0.5百万円
委員等旅費 0.5百万円
教職員研修費 0.2百万円

} を含む

健康診断の在り方に関する調査研
究結果を踏まえ、協力者会議を開
催し、調査分析を行う。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					